

おおだて市議会だより



124号

平成29年5月1日

平成29年3月定例会

議会報告会 市に対するご意見・ご要望とその回答

私もひ・と・こ・と

▶ 2

▶ 8

▶ 12

扇田保育園 入園式 平成29年4月4日

平成29年度予算案を可決

「ひとづくり」「くらしづくり」「まちづくり」の各分野の施策が市民を中心として、市民を囲むようにリンク（※1）していくイメージを持っている」と市長が答弁

※1 連結、連係

平成29年
3月定例会

○ 予算案

平成29年度大館市一般会計予算案

・ 出産祝い地域限定商品券贈呈事業	1, 700万円
・ 小・中学校施設エアコン整備事業	7, 134万6, 000円
・ 健康ポイント事業	123万1, 000円
・ 地域限定商品券発行事業費補助金	231万5, 000円
・ サテライトオフィス事業（※2）	1, 527万7, 000円
・ あきた未来づくりプロジェクト事業	7, 794万2, 000円
・ 観光施設のWi-Fi整備事業	1, 255万8, 000円
・ 地域おこし協力隊事業（移住プロデューサー・秋田犬ふれあい隊）	3, 838万6, 000円
・ 大館版CCRC（※3）事業	1, 805万3, 000円
・ 旧正札竹村本館棟解体事業（調査・設計費）	955万7, 000円
・ 危険家屋等解体撤去費補助金	500万円
・ 除雪車更新事業	7, 400万円
・ 大館能代空港利用促進運賃助成事業	1, 800万円

※2 サテライトオフィス事業…三大都市圏（東京圏・名古屋圏・大阪圏）の企業を対象に、「お試し勤務」体験を通してサテライトオフィスの開設・誘致を図るもの。ベニヤマ自然パークがお試し勤務の体験施設

※3 大館版CCRC…大館の暮らしの魅力によって若年層を含む幅広い世代の健康長寿・生涯活躍を実現し、定住促進を目指すもの

起立採決により
原案可決
賛成25 反対等2

平成29年度大館市病院事業会計予算案

原案可決

平成28年度大館市一般会計補正予算（第8号）案

・ ペットと泊まれる宿泊施設整備事業	4, 560万8, 000円
・ 3D連携（※4）交流拡大事業	3, 281万5, 000円
・ 長走風穴館整備事業	4, 067万3, 000円

※4 3D連携…観光振興を目的とした函館市・仙北市（角館）・大館市の面的なつながり

○ 条例案

長寿祝金の支給に関する条例の一部改正

平成29年4月1日より、在宅で満100歳を迎える方の支給額を30万円から20万円へ減額。施設入所等の方は3万円に変更はありません。また、従来の現金支給に加え、商品券での支給が可能になりました。

図書館条例の一部改正

中央図書館の歴史的背景を伝承していくため、平成29年4月1日から名称が変更になります。

大館市立中央図書館

↓

大館市立栗盛記念図書館

原案可決

市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

市立総合病院での内視鏡フィルム代誤徴収を初めとする一連の不祥事により、行政に対する信用を失墜させたことについて、市長及び副市長の平成29年4月分の給料月額を、それぞれ10分の1減額するものです。

平成29年3月定例会は、2月21日から3月13日までの21日間の会期で開催されました。市長提出議案は、報告2件、議案の訂正1件、専決処分の承認1件、条例案19件、単行案3件、補正予算案20件、当初予算案20件、人事案2件、合計68件を審議の結果、全て原案のとおり議決しました。ここでは主なものをお知らせします。

また、請願・陳情の審議結果、意見書の提出状況は記載のとおりとなっています。

○ 請願と陳情

3月定例会に提出されたもの

陳情	・ 地域別最低賃金の引き上げと全国一律最低賃金制度の実現、中小企業支援の拡充を求めることについて	趣旨採択
	・ テロ等準備罪（共謀罪）法案の国会提出に反対することについて	継続審査

継続審査となっていたもの

請願	・ セシウムを含む焼却灰の受け入れ再開への反対について ・ 労働基準法改定案の撤回を求めることについて ・ 原発の再稼働中止を求めることについて ・ 沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求めることについて ・ パークゴルフ場の設置について	継続審査
	・ 介護保険の給付縮小や負担増を中止し、充実を求めることについて	採 択
陳情	・ 歯科衛生士を市の正職員として雇用することについて ・ 脳しんとう(軽度外傷性脳損傷)の周知、及び医療・支援体制の整備について ・ 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交代制労働の改善を求めることについて ・ 地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求めることについて ・ 高額療養費や後期高齢者の窓口負担の見直しに当たり、現行制度の継続を求めることについて ・ 若い人も高齢者も安心できる年金制度改善と年金積立金の株式運用の見直しを求めることについて	趣旨採択
	・ 法輪功愛好者への迫害及び臓器の強制摘出の停止を求めることについて	不 採 択

意見書の提出

- 次期介護保険制度改正における福祉用具・住宅改修のサービスの見直しに関する意見書
《提出先》 内閣総理大臣、厚生労働大臣
- 介護保険の給付縮小や負担増を中止し、充実を求める意見書
《提出先》 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

一般質問

おばた
新一 議員（公明党）



地域包括ケアシステムの構築推進について

〈問〉 地域包括ケアシステムに関する認識を共有するための基本方針を計画すべきと思うが。

〈市長〉 事業者や学識経験者などから意見を伺い、「（仮称）地域包括ケアプラン」を策定し、大館らしい地域包括ケアシステムケアのあり方を明確にしたい。

〈問〉 地域包括ケアシステムの担当部署を設置すべきと思うが、市長の考えは。

〈市長〉 まずは長寿課を主体とし、29年度内に横断的プロジェクトチームを設置する。

〈問〉 在宅医療の推進と介護の連携における課題を市長はどのように考えているのか。一次医療の医師不足に対応するためICT連携を進めてはどうか。

〈市長〉 一次医療機関の減少傾向から医師グループ等による訪問診療などの制度を推進する必要がある。「あきたハートフ

ルネット」の促進や「ふたり主治医制」の推進、また、総合病院が後方支援病院として機能できるように整備を進める。

認知症サポーターの育成

〈問〉 認知症の早期発見と治療のために、認知症サポーターの育成に注力する必要があるか。

〈市長〉 大館市のサポーターの割合は県内でも下位にある。広報等を通じて広く周知し、これまで以上に企業・学校などに呼びかけ、養成に取り組む。

健康マイレージ導入

〈問〉 健康マイレージを導入し、健康維持に役立てては。

〈市長〉 29年度から健康ポイントを導入し、今後さらにポイントの範囲を広げる検討をする。

地域包括支援センター機能充実を

〈問〉 地域包括支援センターに介護予防のサロンや幅広い相談機能の充実を図ってはどうか。

〈市長〉 支援センターはケアシステムのかなめである。包括的支援体制づくりにおいて重要な役割を担うものと考え、体制の強化とセンターの機能充実に取り組んでいく。

〈問〉 災害時における要介護者等の避難方法にきめ細やかな配慮をすべきではないか。

〈市長〉 状況に応じた避難方法の必要性を認識している。災害時に要介護度の高い方などが社会福祉施設へ緊急的に入所できるような対応を関係機関と協議していきたい。

おだなぎまさゆき
小棚木政之 議員（平成会）



文書館を設立すべきでは

〈問〉 公文書、民間所有の書類、写真、デジタルデータなどを保存する文書館を設立しては。史料は散逸し博物館の状況もよくない。

〈市長〉 法律で努力義務が課せられている。史料が活用されていないなどの指摘もあり、喫緊の課題。調査・検討を進める。

市史編さんの取り組みの現状は

〈問〉 時間がたつほど史料の収集や聴取は困難になる。人材育成も含め活動すべきでは。

〈教育長〉 市史刊行を目的にせず、資料の体系的な収集・保存と、総合的・継続的に記録・

公開できる体制を構築したい。

旧小坂鉄道の保存と活用のあり方を定めるべきでは

〈問〉 貴重な遺産が破却の危機にあるとともに、市民生活を不便にしている。市民生活と保護・活用のバランスを考慮した方針を早急に策定すべき。

〈市長〉 多くの意見があることは承知している。さまざまな機関・関係者との調整が必要であり、協働での事業展開を検討したい。

ドイツ・ラーツェブルク市との交流を提案したい

〈問〉 表敬訪問で、市長・議長らと地域衰退を止めるのは教育と意気投合。ふるさとキャリア教育を進める当市に関心を寄せられ、パートナーシップの申し出があった。観光営業と別の観点で交流から始めてはどうか。

〈市長〉 観光経済交流を台湾・タイと進めているが、県の動向や物語性などを勘案し可能性を探りたい。

除雪器具開発を支援し、産業活性化と市民生活の向上を

〈問〉 除雪精度が向上する機器開発を地元企業などに呼びかけ、克雪対策ができないか。

〈市長〉 新創設の新商品・新技術開発等支援事業費補助金等

を活用し関係者と協議したい。

いしがき
博隆 議員（平成会）



国による生産数量目標の配分の廃止に伴う影響と課題は

〈問〉 平成30年まで1年を切った。正しい情報を農家にわかりやすく伝える体制づくりを。

〈市長〉 30年産以降、国は行政による生産数量目標の配分を廃止することとしており、今後は農業者やJA等がみずからの経営判断に基づき米の生産量を決める仕組みになる。しかし、米の需給バランスを保ち価格を安定させるためには、生産調整の継続は欠かせないものと認識している。その周知のため、市及び市農業再生協議会では、2月に30年産以降の対応の仕組みに関するチラシを水田経営農家4,300戸へ配布している。また、2月20日から市内61カ所で開催している集落座談会においても説明を行っている。さらに、4月にチラシを配布し、J

一般質問

Aあきた北においてもJAの広報に米の生産調整が続く旨を掲載し、周知を図ることとしている。今後あらゆる機会を捉え農業現場において混乱が生じないよう正確な情報を伝えてまいりたい。

大館市農業再生協議会について

〔問〕 今後の方向性は。

〔市長〕 秋田県農業再生協議会では、県全体の生産の目安を提示することとしている。市農業再生協議会では、県の生産の目安を踏まえ、JA等集荷業者及び農業者に対し一つの指標として生産の目安を提示する方向で検討している。来年度に開催する幹事会等において構成員であるJA及び集荷業者を中心に、消費者の視点による大館産米の販売方法等について積極的に議論を深め、需要に応じた米づくりに取り組んでまいりたいと考えている。また、市独自の事業である重点戦略作物等作付支援事業により支援を継続するとともに、農家所得の向上と産地づくりを推進してまいりたい。さらには、農家の皆様が生産した大館産の米や野菜のおいしさを市内外にPRし、地元で食していただく取り組みを進め、観光振興にもつなげてまいりたいと考えている。

田村 儀光 議員（平成会）

平成29年度予算について

〔問〕 めり張りをつけた予算編成ができたと言っているが、具体的にはどういうことか。

〔市長〕 福原丸キックオフ予算と銘打った平成28年度予算は、将来の大館を担う「大館びとたる人づくり」への投資予算とした。29年度予算は、この人づくりを継続しながら市民生活の基盤となる医療及び介護給付費や生活保護費、道路・橋梁の維持・補修費、小・中学校の施設修繕など環境整備費を確保した上で、交流人口・関係性人口拡大に向けて、人の流れを呼び込み、産業振興と地域経済のさらなる循環を図る施策に重点を置いた編成とした。地域限定商品券の交付事業がその一例であり、第一子の出産祝いや長寿のお祝いとしての商品券の贈呈、健康づくり、各種検診の受診率向上に向け、一定のポイントをためた場合に商品券と引きかえる



など、これらは福祉関連部門と地域の消費喚起に係る産業振興部門が連携して事業を推進するものである。また、3D連携などの地域連携やインバウンド受け入れ体制の拡充、観光、多文化交流事業のさらなる展開など、交流人口の拡大に向けて実効性を高める予算編成になったと考えている。

〔問〕 市独自の戦略作物の支援についての考えはないか。

〔市長〕 市内の食品製造会社が必要とする原材料を地元の農家が生産し供給することができれば、農業者の所得向上につながるものと考えている。企業側のニーズを的確に把握するとともに、作物の栽培に適した農地の条件や栽培方法など生産農家への情報提供、企業と生産農家のマッチング、収穫量をふやす栽培方法確立のために実証園への必要に応じた支援の実施など、従来の作付助成補助金の交付にとられない形で、誘致企業への支援という観点もあわせ、総合的に検討してまいりたい。

〔問〕 耐性菌対策について。

薬の飲み過ぎで抗生物質が効かない耐性菌が出現することがある。市立病院での指導体制は。

〔管理者〕 処方指示どおり服するよう指導している。

笹島 愛子 議員（日本共産党）

小・中学校の就学援助制度の充実について

〔問〕 就学援助費の費目のうち、入学準備金を認定年度前の12月までに支給決定すること、新入学児童生徒がいる家庭でも入学式までに制服等を準備できる。ぜひ、29年度から実施すること。

〔教育長〕 就学援助の認定要件である所得を確認できるのが6月となるため、実際に支給されるのはその後になる。年度の早い時期に支給している他市町村の情報を収集し、よりよい方法があれば改善したい。

〔問〕 国は、要保護世帯への入学準備金を2倍に引き上げた。準要保護世帯にも単価の引き上げを適用すること。

〔教育長〕 要保護世帯への措置と均衡を失することのないよう、予算の確保に努める。



高齢者の外出支援事業を新設し、公共交通等の充実を

〔問〕 高齢者が外出して、人と交流することが、健康や長寿にとっても最適であるとの研究者らの知見もある。路線バスの空白地域の解消を急ぎながら町なか住宅地の不便解消の声にも耳を傾け、外出支援できる体制をつくること。

〔市長〕 市では、来年度から立地適正化計画の策定に着手することとしている。国が進める「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」をコンセプトに、都市機能や居住区域のあり方とあわせ、交通ネットワークのあり方についても検討していく。

国は2017年予算案で、保育士処遇改善の配分方法を示した。本市の見通しは

〔問〕 民間に勤務する全職員に対する2%の処遇改善を実施するものであり、全体的に少しずつ改善につながっている。本市の状況は。

〔市長〕 次代を担う子供たちのため、保育環境の充実と処遇改善を進めていく。

一般質問

そうま
相馬エミ子 議員(新選挙区)



綱紀粛正について

〔問〕 職員の酒気帯び運転を初め、一連の不祥事やミスが続き、市政をつかさどる最高責任者としての綱紀粛正について伺う。また、職員はコンプライアンス（法令遵守）が基本であり、研修のあり方や一人一人の意識改革が必要である。失われた市民の信頼をどのように取り戻すのかを伺う。

〔市長〕 たび重なる不祥事を厳粛に受けとめ、二度と過ちを繰り返さないよう再発防止を最優先課題として、法令遵守など専門的な職員研修を導入し綱紀粛正に努める。また、失われた市民の信頼を取り戻すためにも一丸となつて取り組んでいく。

障害者差別解消を

〔問〕 昨年4月に障害者差別解消法が施行されたが、本市の障害者差別への取り組みについて伺う。誰もが支え合つて生き

る共生社会実現に向け、意識に潜む偏見や思い込みをなくすため、心のバリアフリーを進めることが大事であると考えているが、市長の考えを伺う。

〔市長〕 障害者差別解消法の趣旨を市民に広く周知の上、理解を深めるためのガイドブックを作成して周知を図っていく。また、障害を理由とする差別の解消推進に関する職員対応要領の策定を進め、今後も相談体制の取り組みを着実に進めてまいりたい。

健康寿命日本一、がん撲滅対策を

がん撲滅対策を

〔問〕 健康で長生きは誰もが望んでいることである。がんという病で年間30万人の人が命を失い、国民病とも言われている。受診率向上に向け精密検査の受診率100%を目指し、未受診者へのアンケート調査実施について伺う。

〔市長〕 生活習慣病の改善、がん予防の普及啓発を行い、検診体制の整備や項目の充実等、受診率向上に努め、未受診者へのアンケート調査実施を検討する。また、がん患者虹の会に対する助成について、特定の団体へ長期にわたり助成することは難しいため御理解を願う。

あかし
明石 宏康 議員(いばき)



旧正札竹村本館棟解体について

〔問〕 改修か解体かで議論が二転三転するたびに圏域住民は一喜一憂してきた。アスベスト調査費と基本設計業務委託料が予算化されたことで解体事業が始まるとの認識でよいのか。

〔市長〕 29年度予算が解体に向けた第1歩である。

〔問〕 密閉式の工法は市内に前例がない。工事の安全性を市民に十分周知してほしい。

〔市長〕 近隣の皆様には工事前に内容を丁寧に説明する。

〔問〕 財源根拠は何か。また、跡地利用は民間の提案を待つのか、解体事業が始まる今から議論をするのか。

〔市長〕 国の交付金を使うと跡地の利用制限が厳しい。市の基金投入も視野に入れ、資金計画を整えて議会に相談する。

ふえるカラスへの対応について

〔問〕 数年前に猟友会への助成方法が一新され、駆除数が激減した。カラス激増の一因になってはいないか。今後の駆除のあり方について、いまだ一度猟友会と議論してほしい。

〔市長〕 駆除活動への支払いが捕獲実績ではなく日当になっている。モチベーションが下がらぬよう、交付金制度の範囲内で捕獲実績が上がるよう検討したい。

アニメやゲームとの「コラボ」について

〔問〕 全国的美術館に若い女性押し寄せる「刀剣女子」なる社会現象を巻き起こしているのはゲームである。文豪を題材として小林多喜二も出演する作品も人気を集めている。最近では映画やゲームにゆかりのある地をめぐる、聖地巡礼と呼ばれる新しい旅が人気であり、弘前市も既に組み組んでいる。ほかにもふるさと納税の返礼品にアニメのポスターを起用するなど議論する価値は高い。

〔市長〕 交流人口を拡大するには人々の心の奥にある心象風景や本質を捉えた情報発信が重要である。

さとう
佐藤 芳忠 議員(無所属)



3億2千万円もの借金を抱え、毎年、多額の赤字を出し続ける「八千公の駅」事業は、規模を縮小すべき

〔問〕 市は将来的な財政負担を軽減するために公共施設の維持管理費を削減するとし、一方では保育園や福祉施設などを譲渡や指定管理する計画を立て、もう一方では維持管理に膨大な赤字を出し続けることが分かっている「ハチ公の駅」や「駅ビル」を建設しようとしている。特に「ハチ公の駅」については、外観を大正時代の渋谷駅に似せたことなどにより、事業費が3億5千万円から5億6,500万円へと、一挙に2億1,500万円も増えました。今のままでは毎年膨大な赤字を出し続けるので、規模を縮小すべきと考えます。

〔市長〕 どうして規模を縮小し赤字を削減しようとしなのかわかりませんが、10年間で1億2千万円から1億

一般質問

6千万円もの維持管理費の累積赤字について、どのように対応するのかお伺いします。

〔市長〕 ハチ公の駅に関しましては、今後計画されるなかで、削減しなければならぬものが出てきた場合は、さちっと、私は市長として、政策的な判断をすることを約束いたします。

〔JR大館駅ビル』の負担割合は国が12%、JRが16%、市が72%。4億6千万円も市費を出したうえ毎年530万円もの赤字を出す駅ビルは、計画を見直すべき

〔問〕 駅ビルの一環の問題点は、一企業であるJR東日本と市の負担割合です。市が言うには、『市の都合で大館駅を壊すから、駅の移転補償費や迷惑料として、JRが負担すべき2億4千万円のうち1億4千万円を持たなくてはならない』とのことでした。

駅ビルは20年で1億、40年で2億円もの維持管理費の赤字が出ますが、かまわないとお考えでしょうか。また、このように赤字を垂れ流すビルは、青森市のアウガのように債務超過となり、経営破綻状態に陥る可能性が高いと考えます。債務超過にならないような対応はお考えでしょうか。お伺いします。

〔市長〕

今後予定されている

JR東日本との協議の中でルールを順守しつつも、市の負担額をできるだけ削減する努力を行うことをあらためて約束します。

とがし
富樫 孝 議員（新生クラブ）

移住・定住の推進について

〔問〕 空き家バンクでの畑つき空き家の提供や移住して起業する方へ改築費の補助を考えては。

〔市長〕 都市部からの移住者や希望者は気軽に家庭菜園を楽しみたいという方が多数である。家庭菜園ができる庭つき一軒家は登録している93%が成約している。今後も庭つき一軒家の登録件数の増加を目指し移住へつなげていく。28年4月から起業する方を対象に創業支援補助金制度を設けており、最高100万円まで補助する仕組みである。

県道比内田線について

〔問〕 道幅が狭く大型車両の

すれ違いに支障を来している。

〔市長〕 日沿道大館鷹巣間の開通に伴い、二井田や岩瀬工業団地への大型車両の通行が増加しており、日沿道が大館能代空港までつながるとさらに増加すると予想される。日沿道の整備効果をさらに高めるためにも早急に整備するよう県へ要望する。

秋田犬について

〔問〕 秋田犬保存会との連携についての考えは。

〔市長〕 アメッコ市での秋田犬パレードや触れ合いは秋田犬の国内外での絶大な人気を再認識できた場であった。市が進める秋田犬を基軸とした観光施策の可能性を強く再認識した。事業の推進に当たり秋田犬保存会の協力は不可欠であり、国・県・市の重要なパートナーである。秋田犬をふやす取り組みを秋田犬保存会と協力していきたい。

学校給食の無償化について

〔問〕 少子化だからこそ子供への投資を怠ってはならない。

〔教育長〕 学校給食は受益者負担が原則だが、新年度から食材料費の一部を補助する。要保護や準要保護の家庭には今までも全額助成をしている。市の財政状況からして二の足を踏まざるを得ない。子供たちへはふるさとキャリア教育を充実させる

ことで投資をしていきたい。

さとう
佐藤 健一 議員（いぶき）

枝豆の生産拡大
助成について

〔問〕 生産拡大助成の詳細は。

〔市長〕 本市の枝豆生産拡大の推進役が園芸メガ団地の整備であり、2つのメガ団地で30年度までに約110ヘクタールの枝豆生産団地を整備する計画である。今回の事業の見直しでは大規模拡大加算を設定した。作付拡大の目標達成が見通せる31年度以降、大規模拡大加算から高品質加算や高収穫量加算への見直しを検討する。

電通について

〔問〕 電通とのかかわりは。

〔市長〕 電通への職員派遣は、増加する地方公共団体の役割や市民ニーズに対応するための幅広い視野と実践力を持つ人材の育成を目的として、職員1人を派遣した。同社へは、観光PR

動画の作成や観光客誘致に向けた調査等の業務を委託している。

〔問〕 職員派遣を今後も続けるのか。

〔市長〕 民間企業の高いコミュニケーションスキルの体得や利益創出の最先端現場での体験は非常に有意義な研修であるため、29年度も継続して派遣する。それ以降は未定である。

チャレンジデーについて

〔問〕 チャレンジデー本来の目的と周知方法は。

〔市長〕 スポーツの習慣化のきっかけづくりや市民の健康・体力づくりを図ることが大きな目的である。周知は、行政と民間団体の関係者による実行委員会で進めている。町内単位での取り組みへの表彰や地区対抗種目の新設などにより、町内会や住民の参加増に結びつけたい。

世田谷区との交流について

〔問〕 大館市出身の木村泰治氏とゆかりのある世田谷区と交流できないか。

〔市長〕 木村氏の世田谷区での実績は郷土の誇りである。また、東急線沿線地区とのつながりの強化は意義が高い。まずは、民間による機運の盛り上げを見きわめたい。



平成28年
11月開催

議会報告会 市に対するご意見 ご要望とその回答

昨年11月に行われた議会報告会における、市に対するご要望等につきまして、議会から市当局へ回答を求めたところ回答が届きましたので、その全文をここに掲載させていただきます。

なお、大館市議会のホームページでも同様に公開しておりますので、そちらでもごらんになれます。
(大館市のホームページ (<http://www.city.odate.akita.jp>) から大館市議会のショートカットをクリック)

問 スノーボールが1年間立ちっ放しで景観が悪い上、人が飛び出してきても見えにくく危険。また、政党や政治家の顔写真ポスターが多く、景観に配慮してほしい。

答 道路のスノーボールについては、年間を通じて設置できる旨の通達があったため、市では平成26年度から費用対効果も踏まえ冬期間以外もそのままにしていますが、今後の歴史まちづくりや景観計画を参考に、景観に配慮を要する地区での間引きや全撤去を検討します。通行上、見えにくく危険な箇所については、町内会に相談した上で、冬期間のみの設置とするよう対応しますので、危険箇所を土木課までお知らせ願います。また、政党や政治家が政治活動の目的としてポスターを掲示することは認められていないため、景観の悪化を理由に規制することは困難ですが、土地所有者に無断で掲示したり、交通安全の妨げになったりする事案に対しては、選挙管理委員会から移動や撤去を指導します。

問 修学旅行など海外の学生も来やすい誘致事業をしてほしい。通訳ボランティアの対策はどうなっているのか。

答 海外の修学旅行誘致活動として、市長のトップセールスで

タイ王国や台湾の教育関係機関を訪問し、学校・学生交流をお願いしています。また、海外からのお客様受け入れ体制の整備は大変重要であり、現在、市では「おもてなし講座」を開催するとともに、指さしを行いながら外国人とコミュニケーションをとる手助けとなる「指さし会話帳」を作成し、今後、受け入れ施設等でも配置してもらいたいと考えています。

問 週2回ジュニア体操を主催しているが、体育館がなくなれば、どこで教えたらいのか。旧大館工業高校までは行かれないし、ジュニア体操をやめるとは簡単に言えない。

答 市民体育館の解体時期は未定ですが、利用者の安全性を考慮すると早期に利用休止することが必要で、代替施設として、樹海体育館が建設された経緯があり、平成26年からはスポーツ少年団の社会体育化完全移行に伴い、小・中学校の利用料金を半額にする措置も講じたところであります。また、市では中央公民館体育室・学校体育施設・旧大館工業高校施設も利用可能な代替施設として位置づけ、市内スポーツ施設を多面的に利用することで、利用者のご要望に添えていきたいと考えています。

問 廃校舎を利用して老人ホームなど施設をふやすべき。北海道新冠町では廃校になった小学校校舎を利用し、栃木県では寺の住職たちが廃校舎を利用して運営している。

答 廃校舎の利活用に当たっては地域による利用を最優先とし、利用希望がない場合に、売却や貸し出しによる民間活用を進めています。一方、高齢者施設の需要増加が見込まれることから現在、市内では有料老人ホームやサービスつき高齢者住宅など民間事業者による整備が進んでいます。今後、廃校舎の有効活用など民間事業者による高齢者施策の提案については、積極的に協議、対応します。

問 空き家の「カメラバチの巣」の対応に困っている。所有者や親戚にも連絡がとれず、危険な場合、一時、市が対応した後日経費等を所有者へ請求するなどの対応ができないものか。

答 市では、現地確認し注意を促す看板などを設置するとともに、所有者等へ危険排除依頼の通知をしています。危険度や緊急度を勘案し業者に排除を依頼するなど、一時的に市が対応することもあります。

問 田代球場の水はけをよくしてもらいたい。

答 現在、体育施設専門業者に依頼し、対応策を検討しているところです。

問 農業にもっと力を入れていただきたい。

答 持続可能な農業・農村の実現を目指し、担い手の確保と農地集積の推進、圃場整備を中心とした農業生産基盤の整備等に取り組み、米を中心としながらも枝豆等の重点戦略作物や比内地鶏等の安心・安全な農畜産物の生産振興と産地化を図り、農業者が安心して農業に取り組めるよう、さらなる農業振興を図ります。

問 ごみの中にペットボトルのふた一つ残っているだけで収集してくれない。何とか収集してくれないものか。

答 市では、ごみを減らし、資源を有効に使うためにルールを決め、市民にご協力いただいています。ペットボトルのボトルとキャップ部分は、それぞれ資源ごみ、燃やせるごみの分別になっていて、量の多少にかかわらず収集日以外は扱わない取り決めですので、ご理解願います。

問 旧花岡中学校グラウンドの草刈りをしてほしい。

答 周辺住民の皆さまにご迷惑をかけないよう管理します。

問 芝谷地のトイレ前に腐った木材があり、景観が悪くなるので至急処理してほしい。

答 3月28日に処分しました。

問 県では「聴覚障害者に対する情報提供センター」を設置したが、大館市も協力し、センターの情報発信と周知徹底をお願いしたい。災害時には障害者に対する情報発信基地となる。

答 昨年10月1日に秋田県聴覚障害者支援センターが開設され、市では周知を図るため、広報11月号に開設のお知らせを掲載したところです。今後も同センターについて積極的に紹介するとともに、災害発生時における手話通訳者の派遣など、必要な支援が迅速に受けられるよう緊密に連携を図ります。

問 働くパパママ支援事業について、PTAの参加者が少ない参加しやすい環境整備を進めてほしい。

答 市では、保護者が各種イベントに参加しやすいよう、大館市子育て応援ポータルサイト「おおだて子育てねっと」による情報発信や、「おおだて子育てカレンダー（毎月1回発行）」を市内スーパーなどへ掲示して、イベント等の情報を発信しているところです。

問 都市計画税について、比内地域では扇田地区だけが対象となっている。多くの市町村が廃止している中、未来展望はあるのか。

答 都市計画税は、課税対象地域内の都市計画事業に限定し使用していますが、負担のあり方については、大館市都市計画税検討委員会からの報告書の内容も踏まえ、さらに検討していきます。

問 扇田地区の融・排雪溝の設置について、合併前は国土交通省で実施設計が終わっており、7割は国庫補助でできる。ぜひ設置するよう進めてほしい。

答 消流雪用水導入事業は、河川から市街地を流れる水路等に消流雪用水を供給するもので、国が取水・導水施設を、地元自治体が水路や流雪溝などを整備し、地域が施設の管理・運営を担う事業です。市町合併前に旧比内町が町施工分を精査したところ、流雪溝の延長が長く費用も多額となるほか、流末となる二井田堰の問題、揚水ポンプの電気料などの維持管理費や維持管理体制の構築などの課題があり、事業化に至りませんでした。今後も雪押し場の確保や小まめな排雪など、きめ細かな除雪を行って対応してまいります。

問 町内会長の設置をお願いしたい。

答 町内会は市が設置した団体とは異なり、同一地区の住民の共通利益の実現と生活の向上を目的として組織した任意の団体ですが、地区内で町内会長等を組織することは、会長相互の親睦が図られるほか、情報交換を通じて住民福祉の向上、地域コミュニケーション活動の強化、有事の際の共助や助け合える地域づくりの創出など、地区全体のさらなる結束が期待されると認識していますので、市としても会長会の設置に向けて積極的に協力してまいります。

問 曙町内では大雨が降ると、グラウンドから町内に水が流れ床下浸水になる。現場を見て対策を検討してほしい。

答 現地を確認したところ、排水升に土砂が流入し、道路側溝に流入できない状況でした。今後、しゅんせつを実施します。

問 ふるさと納税について、高額な薬を服用するのは経済的負担が大きいので、指定寄附できる制度導入を検討してはどうか。

答 ご提案については、医療保険適用外の薬を服用する場合に患者の自己負担を低減するため、ふるさと納税を活用してはどう

かということと察しますが、各個人がそうした場合に備えて、各々の責任において民間の医療保険に加入しているのが現状です。ご提案の実現については、ふるさと納税の活用ということではなく、全ての薬に医療保険を適用するなど制度の抜本的な改革が必要と考えます。

問 1年に一度、「市長と語る会」あるいは「市民と語る会」を開けば、市民の要望・意見をもっと拾うことができる。

答 町内会単位でも、地域単位でも、いつでもご要望があれば伺います。

問 9月定例会で4億4,000万円の除雪費が補正されているが、大館・比内・田代地域の振り分けは。

答 大館地域が約2億9,000万円、比内地域が約7,300万円、田代地域が約7,600万円です。除雪費は、過去5カ年の平均及び近年の気象傾向をもとに費用を推定したもので、市道や歩道など地域ごとの除雪延長に比例しています。

問 80歳代の知人が紹介状を持たず市立病院に診てもらいに行ったら個人病院に回された。紹介状制度が浸透していないのではないか。

答 皆さんに理解していただくよう周知してまいります。

問 2月に市立病院にかかったが、事務、特に会計の対応が悪い。

答 職員はもちろん、委託業者も含め接遇の向上に努めます。

問 市立病院歩道の屋根開口部をふさがれないか。雨・雪が来院者にあたる。また、バスを利用する方に流れてくる。

答 大型バス等の乗降のため通路屋根が高く、本体屋根との間に隙間がある設計となっています。現在、乗りかえのための利用者も多くなっていることから環境整備について今後検討します。

問 市立病院のバス停（待合室）について、院内に確保できないか。夏は暑く、冬は寒い。高齢者にはきついので対策を願う。

答 院内へのバス待合室設置は、スペースなどの関係上困難ではありますが、待ち時間が長い場合には、院内の待ち合いスペースを活用ください。

問 長木川河川敷ゲートボール場は最近利用されていないように見受けられるが、子供たちの遊ぶスペースとして活用したらどうか。

答 例年ゲートボール愛好団体からシーズン中（4～10月）毎週3日の使用申し込みがあり、北秋田市・鹿角市を含む3市ゲートボール協会主催による親善大会も開催されていますが、今後、市全体の公園の利用状況を踏まえ、ご提言の利活用について検討します。

問 公民館と町内会長との連絡網について、公民館から連絡を密にとれる町内の責任者の対応ができないものか。

答 市内公民館は災害時の一次避難所に指定していることもあり、今後も各町内会とどのような連携を図っていくのか検討してまいります。

問 大館駅前の排水処理について、大きな水路で、沼館入り口から直接的に長木川へ、住居のないところを通るような対策はできないか。

答 大館駅周辺再開発事業では浸水対策も行う予定であり、計画流量を超える雨水は駅前から分散させる計画です。また、スムーズに排水させるため、米代川や長木川で河道掘削事業が実施されていますので、ご理解願います。

問 清水町四・五丁目にある温泉施設や自動車販売店の辺りに

通学者用の押しボタン式信号機を設置してほしい。交通量が大変多く、横断に難儀している。

答 信号機の設置は県公安委員会が所管しているため、窓口である大館警察署交通課へ要望事項を伝えたとところ、「現地調査の上、検討する」とのことでありました。

問 清水町地内河川敷ウオーキングコースの草木が生い茂り、非常に歩きにくい。増水時にはコースが冠水する。ぜひ、河川管理者と相談を。

答 除草作業を年2回程度実施していますが、繁茂期の実態を把握し、除草回数の追加や範囲の拡大を精査します。また、平成25年の豪雨災害などもあり、浸水対策は市の重要施策です。国が管理する米代川のほか、長木川等についても河川管理者である県へ強く要望しているところ です。現在、清水工区の河道掘削が着手され、30年度の完了が予定されており、事業期間内の確実な実施と長木川全体の治水対策について、引き続き要望してまいります。

問 ツアー客獲得方法について、近隣の他自治体と協力して考えたらどうか。幅広い層の観光客に愛される「秋田犬のまち大館」を発信していくための「犬」に

関連した行事がない。犬の全国規模の競技大会で賞金もつける。全国から人が来るので「ペットと泊まれる宿」をふやしていく。

答 広いエリアでの地域間連携や情報発信が必要であるとの認識に立ち、大館市・北秋田市・小坂町・上小阿仁村で構成する「地域連携DMO秋田犬ツーリズム」で各市町村の強みを伸ばし、観光地域づくりを進めます。秋田犬関係については、今後建設を進める観光交流施設（「仮称」ハチ公の駅）や多目的広場を活用し、いつでも秋田犬に会える仕組みづくりなどに取り組み、秋田犬を基軸として大館をPRします。ペットと泊まれるホテルについては、現在、五色湖ロッジ、比内ベニヤマコテージの活用のほか、市内宿泊事業者にもペット対応をお願いしてまいります。

問 アパートの住民のごみの出し方が非常に悪く、市から強く指導してほしい。アパートを建築する際、建設業者に「ごみ箱」の設置を指導してほしい。

答 市では、収集日を記載したごみの日カレンダーとごみを適正に分別していただくための分別表の全戸配布、ごみ分別に関する講座の開催や広報による周知のほか、パソコン、スマートフォンに対応したごみ分別アプ

リ「ゴミチエッカー」の活用も進めています。一部ルールが守られていないとの声もありますので、今後もあらゆる機会を捉えて周知してまいります。なお、町内会から要望があれば、ごみステーションに向いて分別の説明を行いますので、環境課にご相談ください。ごみステーションの設置や管理については、市が定める設置基準により町内会が行うこととしています。アパート専用のごみステーションの設置についても基準により判断しますので、環境課にご相談ください。

問 雪沢小学校の活用について、あのすばらしい校舎を使わないのはもったいない。介護施設など、その利活用に力を入れてほしい。

答 東光鉄工株式会社が農業用ドローンの製造・教習拠点として利用を開始しました。

問 市立病院での待ち時間の解消をお願いしたい。特に眼科、糖尿病の科（内分泌・代謝・神経内科）で、アンケートに記入提案しているが改善されない。

答 医師不足の状況下、一人の医師が時間内に診察できる数に限りがあるため、特に医師の少ない診療科では、どうしてもお待ちさせる時間が長くなってし

まうことをおわびします。当院は急性期医療を担う医療機関と位置づけられ、開業医ではできない検査や手術等の必要な患者さんを中心に対応することが求められていることや、救急及び重症患者さんが発生した場合も優先して診療するため、待ち時間が長くなっています。今後も最大の要因である医師不足を解消するため、県や大学への陳情と要請、民間紹介会社等を通じた募集、学生や研修医の世代に当院をPRする等の活動を継続して進めます。

問 市立病院での待ち時間の解消として、食堂で「お知らせザー」のようなものを導入できないか。

答 貴重なご提言である「お知らせザー」など、待ち時間を有効に利用するための方法について研究を進めます。

問 田代公民館分館の暖房使用料の徴収基準を地域住民にしっかりと説明してほしい。

答 分館事業については、冷暖房料の徴収は行わないものとしています。

問 空き校舎について、地域農業法人の活動拠点として整備・活用してはどうか。地域のリーダーが不足し、地元主導ではな

なかなか難しい。地域が崩壊しない人づくり拠点としての整備を望む。

【答】 廃校舎の利活用に当たっては地域を最優先とし、希望がない場合に民間活用を進めていますが、現在のところ、農業法人4団体が空き公共施設を利用しています。このたびの貴重なご意見を参考にさせていただきます、事例を研究します。

【問】 下川沿駅の駐輪場に、50台程度の自転車置き場が置かれている。主に高校生が利用していると思うが、環境整備をお願いしたい。

【答】 駐輪場と駐車場の整備について、JR東日本秋田支社との話し合いとあわせて利用者数の把握に努めてきました。JRとの協議では、同社が所有する土地の購入もしくは土地賃貸借契約のいずれかの選択が必要とされ、整備に当たっては幾つか選択肢の提示がありました。市にとって優位な手法を研究しているところですが、土地代を含む多額の費用を要するため、費用対効果を勘案しつつ、地域の実情に見合った整備内容として精査する必要があると考えています。

【問】 大館駅前のタクシー乗り場に屋根付きの待合場所を設置してほしい。

【答】 現在、市ではJR大館駅舎の改築を含めた駅前整備を目指しており、ご提案については、その中で検討してまいります。

【問】 鷹巣であった秋田犬のイベントで、秋田犬のふん害で困ってしまったとのこと。大館市ではどのような教育をしているのか。

【答】 犬と同行する飼い主のマナーによるものが大きく、速やかに処理することが大切です。市内のイベントでは対応していますが、イベント時には主催者サイドでふん尿処理担当を配置することが必要と考えています。

【問】 大館市立病院の診療制度を検討してほしい。初診で紹介状がなければ、診察しないのは疑問。公立病院ではないのか。

【答】 医師不足の状況下、一人の医師が時間内に診察できる数に限りがあるため、特に医師の少ない診療科では、まず開業医等で受診していただき、さらなる検査や診察が必要と判断された方に当院を紹介していただくという地域医療連携によつて、医師不足に対応していることをご理解願います。また、当院は急性期医療を担う医療機関と位置づけられ、開業医ではできない検査や手術等の必要な方への対応が求められているとともに、

救急及び重症患者さんを優先して診療するため、一人の患者さんにかかる時間が長くなっています。このため、紹介状のない比較的症状が軽い患者さんについては、希望により予約患者さんの後になることもあり、待ち時間が非常に長くなるため、他の医療機関の受診を勧めることもあります。患者さんが必要と思うときに受診ができることが理想ですが、現状ではかなり困難な状況にあることをおわびするとともに、ご理解とご協力をお願いします。

【問】 市長と語る会を、中学校単位で年1回開催してほしい。

【答】 いつでもご要望があれば伺わせていただきますので、総務部総務課にご相談ください。

【問】 下川沿地区に有浦のような児童館をつくってもらいたい。

【答】 現在、有浦児童会館では放課後児童クラブ（有浦小学校の学童保育）・つどいの広場ひよこ（子育て親子の集いの場）・スポーツ団体等への貸し館の3事業が行われています。この有浦児童会館で行っている事業を下川沿地区に置きかえた場合、「放課後児童クラブ」は川口小学校の学校内で実施していて、現在1・3年生が利用し、かつ、待機児童がいなことからもこの

まま学校内で継続したいと考えています。また、気軽に子育て親子が集える場所としての「つどいの広場ひよこ」は、開設日数の基準や利用者数の確保を考慮した場合、常設は難しいと思われます。なお、スポーツ活動は下川沿公民館を利用願います。

【問】 町内会長に人口割手当を出してはどうか。（例）1世帯50円×100円×世帯数

【答】 町内会には市が設置した団体とは異なり、同一地区の住民等がみずから組織した任意の団体です。市としては個人への支援ではなく、町内会に対する支援策として、町内会館の改築・補修費補助金やLED街灯設置工事費補助金、ボランティア活動保険料の負担や地域ふれあい除雪支援事業など、目的に応じた補助・支援を実施していることから今後も引き続きその施策を継続してまいります。

【問】 ドームや体育館等の公共施設の費用対効果はどのようになっているのか。

【答】 樹海ドームは、各種イベント等に幅広く活用され、スポーツ並びに集客施設として最大限の効果が発揮されています。収支状況は、毎年市議会に報告しているとともに、市ホームページにも掲載しています。費用対

効果は、企業と異なり単純に算出するのは困難ですが、指定管理料が年約8,500万円（うち県の支出が約2,500万円）です。また、昨年度のきりたんぼまつりの経済波及効果は10億1,200万円と算定されています。次に、市の34体育施設ですが、スポーツ活動のほか市民の健康増進や憩いの場、地域コミュニティ施設などに活用され、幅広く利用していただけるよう利用料金も低額に抑えています。費用対効果の指標としては利用者数が最も重要ですが、参考として主要施設の管理費、利用料金収入、利用者数をお知らせします。

平成27年度	管 理 費 (円)	利用料金収入 (円)	利用者数 (人)
樹 海 体 育 館	23,959,473	7,909,575	89,037
市 民 体 育 館	4,104,059	1,002,435	30,191
長根山陸上競技場	2,102,229	386,350	29,141
高館テニスコート	3,035,175	1,955,630	18,973
比 内 体 育 館	5,568,665	1,006,395	24,808
田 代 体 育 館	14,326,556	1,280,765	28,857

私もひとこと

第30回

山木敏子さん（大田面）



「大館のよさ」発見の喜び

退職後は「スローライフ」の言葉に惹かれて畑づくりを楽しみながら忙しい毎日を送っている。そろそろ終活も心が必要かなと思う頃になって、自分が生まれ育ち、お世話になってきた地元大館についても少し考えるようになった。

正直に告白すれば、私は長いこと「大館って中途半端で何にもない町だ」と思っていたが、今は「いろんな宝物が眠っている町だ」と認識を改めるようになった。そのきっかけになったのは、二年前に企画実行した「戦後70年！女性たちの平和への祈り」というイベント経験である。

何の肩書もない私たち女性の呼びかけに、いろいろな方たちが快く応

じて、惜しみない応援協力をしてくださったのである。特に、鳳鳴高校の演劇部や市民劇場の若手の方たち、ゼロダテのサイトウタクヤ君や俳優の山崎栄さんなどプロの方まで無報酬で出演し、出席者全員に未来につながる希望と感動を与えてくれた。女性たちの意見発表も充実していたし、大館に秘められた確かなエネルギーを感じることができたようなことで、私自身が大きな元気をもらったのである。

またこのイベントを通して、移住してこられた方たちの存在の大きさも実感した。私のような純大館産にはしがらみが多くて、あれこれ気にかけ過ぎて動きが鈍くなってしまうことが多い。だが、私が時々訪れる「古書やまもと」では、店主の山本さんだけでなくお客様も県外出身者が多く、このイベントのプランを聞くとき「いいことだわ。楽しみだわ」と、ポーンと背中を押してくれた。つまらないことにとらわれない純粹さに、新鮮な驚きを覚えた。庭木も畑も風通しが悪いと虫がはびこる。移住してこられた方たちが、これからも、この地の貴重な風となつてほしいと願

「私もひとこと」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。
議会議務局までご連絡ください。

う。

山本さんに移住地の決め手になるのは何かと問うと、確信をもって答える。「決して立派な建物があるとか、風光明媚だとかではない。そこに住んでいる人たちが楽しく幸せに暮らしているかどうか」と。私たち住民が自分の町に誇りを持ち、自信を持って生き生きと生活していくことが、若い人たちをこの町に引きつける魅力となり、人口減対策につながっていくのである。以来、大館の良さを発見することも、私の楽しみの一つに加わった。前向きな姿勢に切り替えることで、これまで気づかなかった大きな宝物が見えてきたように思う。

今、私が最も関心を持っているのは安藤昌益である。さらに狩野亨吉、小林多喜二。そして加害の歴史とは言え花岡事件、市民活動としての「大館自然の会」など、全国に誇れるものもある。これらの宝を柔軟な思考で上手に生かすことができれば、大館はユニークで、文化的にも歴史的にも注目される存在感のある町になるにちがいない。遅ればせながら、大館が可能性を秘めた町であることが悟ることができて、私は素直に喜んでる。

市議会を傍聴してみませんか

定例会と臨時会の本会議はどなたでも傍聴できます。

傍聴されるかたは、市役所東側（裁判所側）3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。

なお、団体での傍聴をご希望の場合は、傍聴席の数に限りがありますので、あらかじめ議会議務局にご連絡ください。

☎43-7108（直通）

編集後記

秋は一日ごとに日が短くなるため、気分のめいる人が多くなるとか。私もお盆過ぎごろから「ああ、また秋が来る」とセンチメンタルになる。逆に、春を迎えると気分も前向きになる。しかし、政治の世界では後ろ向きになったり、気分をめいらせてはいられない。昨今の国会を見てみると、国民不在としか受け取れないような状況と言わざるを得ない。人間誰しも、大なり小なり過ちは犯しがちである。そこを認めて反省することが大事ではないか。特に、国民に選ばれた人たちは。

（笹島 愛子 記）